

味の素株式会社

2015年3月期第2四半期決算概要

1. 決算概要
2. 財政状態
3. セグメント別情報

2014年11月10日

取締役 常務執行役員 大野 弘道

AJINOMOTO® 1.(1) 決算概要

(単位: 億円)

	2014年 4~9月		2013年 4~9月		2015/3期 通期予想 (修正後)		進捗率	2014年 7~9月		2013年 7~9月	
	増減額/率		増減額/率		増減額/率			増減額/率		増減額/率	
売上高	4,676	4,689	▲ 13	▲0%	10,080	46%	2,400	2,352	48	2%	
国内食品	1,473	1,443	30	2%	3,123	47%	763	741	22	3%	
海外食品	1,531	1,441	91	6%	3,222	48%	788	727	61	8%	
バイオ・ファイン	1,083	1,116	▲ 34	▲3%	2,384	45%	551	566	▲ 15	▲3%	
医薬	188	279	▲ 91	▲33%	409	46%	94	111	▲ 18	▲16%	
その他	401	410	▲ 9	▲2%	942	43%	204	206	▲ 2	▲1%	
営業利益	286	297	▲ 12	▲4%	700	41%	153	145	8	5%	
国内食品	101	114	▲ 13	▲11%	288	35%	51	52	▲ 1	▲2%	
海外食品	164	128	36	28%	294	56%	87	67	20	30%	
バイオ・ファイン	26	39	▲ 13	▲34%	97	27%	18	14	4	31%	
医薬	2	15	▲ 13	▲85%	23	10%	0	11	▲ 11	▲96%	
その他	▲ 8	2	▲ 9	▲560%	▲ 2	375%	▲ 4	1	▲ 5	▲393%	
経常利益	319	331	▲ 12	▲4%	750	43%	164	159	5	3%	
中間(当期)純利益	207	223	▲ 16	▲7%	440	47%	98	104	▲ 6	▲6%	
為替レート											
円/USD	103.01	98.86			100.0						
円/ユーロ	138.90	129.98			130.0						

注) 7~9月実績は、4~9月実績と4~6月実績との差(以下のスライドも同様)

※2015年3月期より、販促値引き費等を、販売費および一般管理費計上ではなく売上高より控除する方法に変更。

また、当該処理は支払金額確定時ではなく、売上高計上時に見積り計上を行う。

2014年3月期も上記変更を反映。(以下のスライドも同様)

AJINOMOTO 1.(2) 決算のポイント

売上高は医薬の事業移管影響、飼料用アミノ酸等の減収あるも、海外食品、国内食品の増収によりほぼ前年並み。
 営業利益は海外食品大幅増益も、他のセグメントが減益となり、全体で減益。
 但し、第2四半期(7-9月期)では増収増益を達成。

売上高・営業利益

(単位:億円)

2014年 4~9月	通期 進捗	前年 増減		2014年 7~9月	前年 増減
4,676	46%	▲0%	売上高	2,400	2%
3,097	-	▲1%	売上原価	1,592	1%
1,293	-	3%	販管費	655	5%
286	41%	▲4%	営業利益	153	5%

1. 為替影響 (対前年)

換算為替では、
 中間期:売上高 38億円、営業利益 ▲1億円
 Q2:売上高 46億円、営業利益 4億円
 主要法人の貿易為替は、
 中間期:売上高 約10億円、営業利益 約10億円
 Q2:売上高 約0億円、営業利益 約0億円

2. 原燃料価格影響 (対前年)

中間期:発酵原燃料 約48億円、国内食品原材料 ▲約6億円
 Q2:発酵原燃料 約38億円、国内食品原材料 ▲約3億円

3. コストダウン (対前年)

中間期:国内食品約13億円、医薬約6億円
 Q2:国内食品約7億円、医薬約2億円

▲=損サイド



AJINOMOTO® 1.(3) 決算のポイント

経常利益

(単位:億円)

2014年 4~9月	通期 進捗	前年 増減		2014年 7~9月	前年 増減
33	-	▲1%	営業外収支	12	▲19%
319	43%	▲4%	経常利益	164	3%

特記なし

純利益

(単位:億円)

2014年 4~9月	通期 進捗	前年 増減		2014年 7~9月	前年 増減
9	-	▲76%	特別利益 *1	2	▲90%
13	-	▲34%	特別損失 *2	9	▲8%
66	-	▲23%	法人税等	41	▲18%
41	-	7%	少数株主利益	19	▲2%
207	47%	▲7%	純利益	98	▲6%

*1 関係会社株式売却益 0億円
(対前年23億円減)

*1 受取保険金 0億円
(対前年12億円減)

*1 償却債権取立益 6億円
(対前年6億円増)

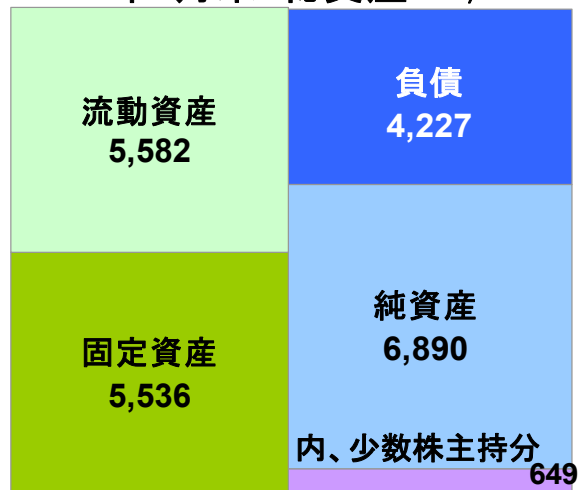
*2 関係会社整理損 0億円
(対前年7億円減)



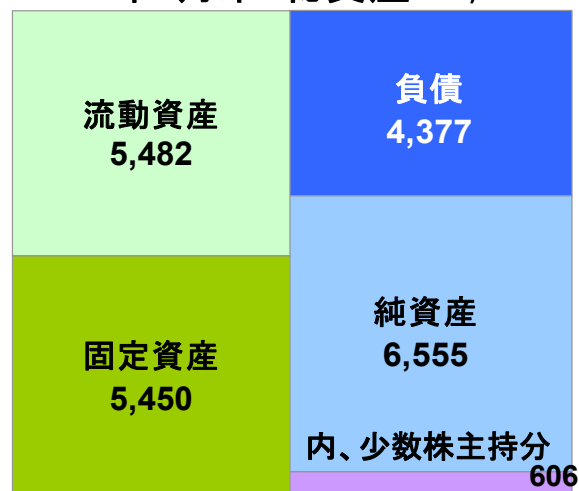
AJINOMOTO® 2. 財政状態

(単位:億円)

2014年9月末:総資産 11,118



2014年3月末:総資産 10,932



2014年3月末に比し総資産186億円増加:
・在外子会社の貸借対照表の円貨換算額の増加

キャッシュフロー

(単位:億円)

	2014/9	2013/9	増減
①営業活動によるCF	568	196	372
②投資活動によるCF	▲ 228	▲ 374	146
③財務活動によるCF	▲ 145	▲ 227	81
④現金および現金同等物の残高	1,538	1,425	112
FCF(①+②)	341	▲ 178	519

※▲はキャッシュアウト

設備投資	▲ 225	▲ 272	48
減価償却費	211	225	▲ 14

有利子負債

(単位:億円)

<参考>

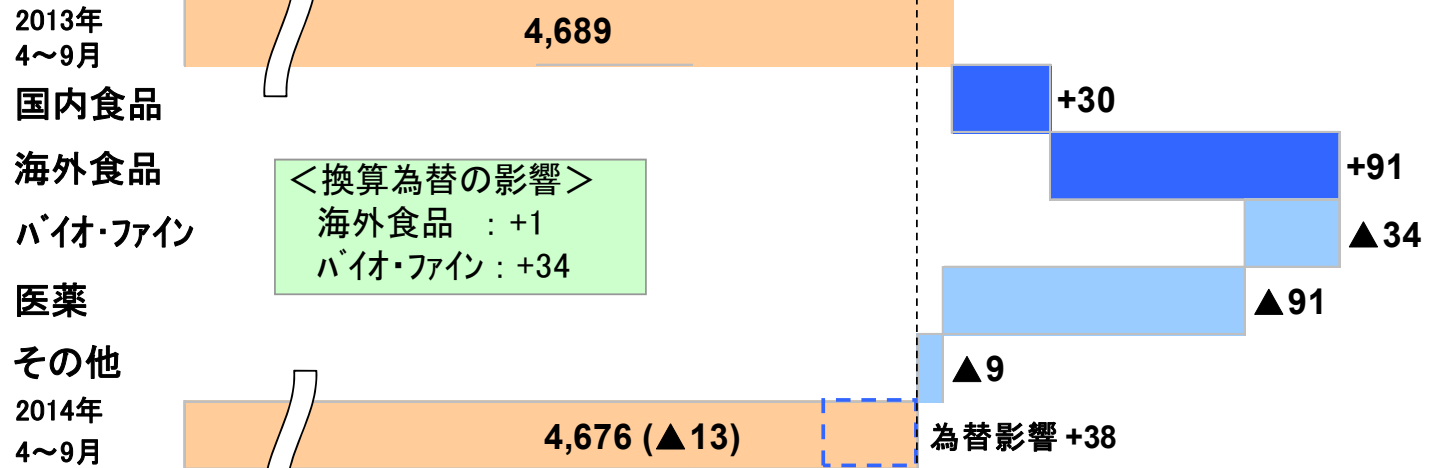
2014/9	2014/3	増減	2013/9
1,371	1,430	▲ 58	1,363



3.(1) セグメント別増減

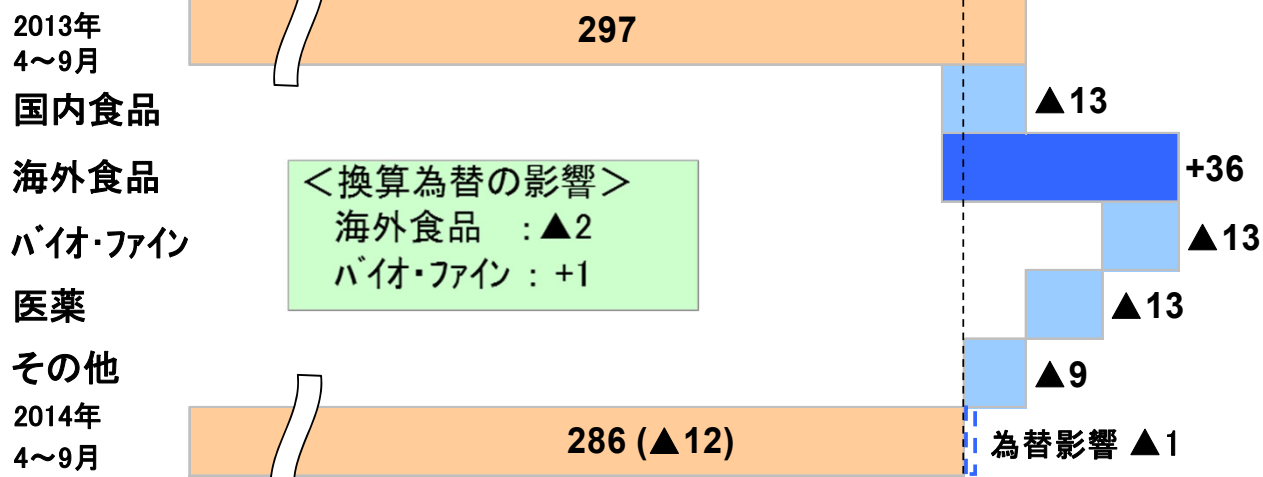
(単位:億円)

売上高



<換算為替の影響>
海外食品 : +1
バイオ・ファイン : +34

営業利益



<換算為替の影響>
海外食品 : ▲2
バイオ・ファイン : +1

3.(2) 国内食品事業

2014年 4~9月	通期 進捗	2013年 4~9月	増減		<参考>		増減
					2014年 7~9月	2013年 7~9月	
1,473	47%	1,443	30	売上高	763	741	22
927	-	922	5	*1 調味料・加工食品	484	473	11
546	-	521	25	*2 冷凍食品	279	268	11
101	35%	114	▲ 13	*3 営業利益	51	52	▲ 1
116	-	121	▲ 5	調味料・加工食品	60	56	3
25	-	27	▲ 2	冷凍食品	12	14	▲ 2
▲ 40	47%	▲ 35	▲ 5	全社共通費	▲ 21	▲ 18	▲ 3

*1 消費税増税影響は第1四半期で収束。第2四半期の家庭用の需要喚起策による増収と業務用の機能型食品等の伸長により、全体として増収。

*2 国内販売は微増、北米を中心とした海外販売の伸長で全体として増収。

*3 調味料・加工食品の需要喚起の為の販促費増加や冷凍食品の原材料価格上昇影響、販促費増加等により全体として減益。

3.(3) 海外食品事業

2014年 4~9月	通期 進捗	2013年 4~9月	増減	<参考> (単位:億円)			
				2014年 7~9月	2013年 7~9月	増減	
1,531	48%	1,441	91	売上高	788	727	61
1,280	47%	1,189	91 *1	コンシューマーフーズ	661	608	53
251	50%	252	▲ 0 *2	加工用うま味調味料	127	120	8
164	58%	128	36 *3	営業利益	87	67	20
▲ 54	47%	▲ 46	▲ 8	全社共通費	▲ 28	▲ 24	▲ 4

<換算為替の影響> Q2 売上高:+23、営業利益:+4
4-9月 売上高:+1、営業利益:▲2

- *1 換算為替のマイナス影響あるも、主に「味の素」、風味調味料の数量増等で増収。
 - *2 換算為替のプラス影響あるも、核酸の販売単価下落等により前年並み。
 - *3 換算為替のマイナス影響あるも、コンシューマーフーズの販売数量増および加工用うま味調味料のコストダウン等により増益。
- 参考:コンシューマーフーズ+36、加工用うま味調味料+6

3.(4) バイオ・ファイン事業

				<参考> (単位:億円)			
2014年 4~9月	通期 進捗	2013年 4~9月	増減		2014年 7~9月	2013年 7~9月	増減
1,083	45%	1,116	▲ 34	売上高	551	566	▲ 15
439	43%	475	▲ 35 *1	飼料用アミノ酸	229	238	▲ 9
411	-	392	19 *2	アミノ酸	206	202	4
217	-	223	▲ 6 *3	化成品	110	112	▲ 2
26	27%	39	▲ 13 *4	営業利益	18	14	4
▲ 11	-27%	9	▲ 19	飼料用アミノ酸	2	1	1
28	-	21	7	アミノ酸	14	9	5
55	-	51	4	化成品	27	26	1
▲ 37	48%	▲ 33	▲ 4	全社共通費	▲ 19	▲ 17	▲ 2

<換算為替の影響> Q2 売上高: +19、営業利益: ▲0
 4-9月 売上高: +34、営業利益: +1

- *1 換算為替のプラス影響あるも、リジン販売単価の大幅下落により減収。
- *2 医薬用・食品用アミノ酸 +5、製薬カスタムサービス +9、甘味料 +6
- *3 化粧品リテールの消費税増税に伴う前年度末駆け込み需要の反動影響や電子材料以外のケミカルの減収により減収。
- *4 医薬用・食品用アミノ酸、化成品等で増益も、飼料用アミノ酸等の減益をカバーできず減益。
 参考: アミノ酸のうち医薬用・食品用アミノ酸+7、製薬カスタムサービス+1、甘味料▲0



3.(5) 医薬事業

2014年 4~9月	通期 進捗	2013年 4~9月	増減		<参考>		増減	
					2014年 7~9月	2013年 7~9月		
188	43%	279	▲ 91	*1	売上高	94	111	▲ 18
2	7%	15	▲ 13	*2	営業利益	0	11	▲ 11
▲ 7	42%	▲ 8	1		全社共通費	▲ 3	▲ 3	▲ 0

(単位:億円)

*1 薬価改定および後発品の影響に加え、前年7月の輸液・透析事業移管影響(約49億円)により、国内販売品、提携販売品ともに減収。

味の素製薬(株)推定薬価ベース売上(前年同期比)

「リーバクト」68億円(90%)

「エレンタール」38億円(99%)

「アテレック」61億円(81%)

「アクトネル」45億円(88%)

「ファスティック」7億円(74%)

*2 オペレーション効率の改善やロイヤルティ収入増あるも、自社販売品および提携販売品の減収影響をカバー出来ず減益。

3.(6) その他事業

2014年 4~9月	通期 進捗	2013年 4~9月	増減		<参考> (単位:億円)		
					2014年 7~9月	2013年 7~9月	増減
401	44%	410	▲ 9	*1 売上高	204	206	▲ 2
10	-	11	▲ 1	油脂・コーヒー	5	6	▲ 1
▲ 8	323%	2	▲ 9	*2 営業利益	▲ 4	1	▲ 5
9	-	11	▲ 2	油脂・コーヒー	5	5	▲ 1
▲ 17	46%	▲ 15	▲ 2	全社共通費	▲ 8	▲ 8	▲ 1

*1 主に物流事業等の減収により減収。

*2 健康ケア事業は増益も、物流事業等の減益により減益。

AJINOMOTO® 3.(7) 事業別・地域別売上高

※ 上段：2014年4～9月実績、下段：2013年4～9月期実績
 ()内は増減額

(単位：億円)

	日本	アジア	米州	欧州	合計
国内食品	1,355 (7)	29 (0)	69 (12)	19 (11)	1,473 (30)
	1,349	29	57	8	1,443
海外食品	46 (1)	1,041 (56)	301 (33)	143 (0)	1,531 (91)
	46	985	268	142	1,441
バイオ・ ファイン	307 (▲14)	89 (▲1)	350 (▲6)	337 (▲12)	1,083 (▲34)
	321	90	355	350	1,116
医薬	188 (▲91)				188 (▲91)
	279				279
その他	357 (▲5)	44 (▲4)	1 (0)		401 (▲9)
	362	48	0		410
合計	2,253 (▲103)	1,203 (51)	720 (40)	499 (▲1)	4,676 (▲13)
	2,356	1,152	681	500	4,689



AJINOMOTO 3.(8) 事業別・地域別営業利益

※ 上段：2014年4～9月実績、下段：2013年4～9月期実績
 ()内は増減額

(単位：億円)

	日本	アジア	米州	欧州	地域外*	合計
国内食品	122 (▲8) 130	9 (▲2) 11	7 (0) 7	3 (1) 2	▲39 (▲4) ▲36	101 (▲13) 114
海外食品	▲7 (3) ▲10	183 (32) 151	46 (5) 41	▲3 (1) ▲3	▲55 (▲5) ▲51	164 (36) 128
バイオ・ファイン	62 (4) 58	▲3 (▲7) 4	2 (2) 0	3 (▲11) 14	▲38 (▲1) ▲37	26 (▲13) 39
医薬	9 (▲14) 23				▲7 (1) ▲8	2 (▲13) 15
その他	6 (▲6) 12	5 (▲2) 7	0 (0) 0	▲0 (▲0) ▲0	▲18 (▲1) ▲17	▲8 (▲9) 2
全社共通費等*	▲73 (▲1) ▲72	▲45 (▲5) ▲40	▲23 (▲2) ▲21	▲16 (▲1) ▲16	158 (9) 149	0 (0) 0
合計	119 (▲23) 142	149 (17) 133	31 (5) 27	▲14 (▲10) ▲3		286 (▲12) 297

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。



AJINOMOTO® 3.(9) 事業別・地域別営業利益のポイント

2014年4～9月 対前年同期増減

1. 海外食品

日本:+3、アジア:+32、米州:+5、欧州:+1、地域外*:▲5 計 +36億円

アジア 換算為替のマイナス影響あるも、コンシューマーフーズの増収等で増加。

2. バイオ・ファイン

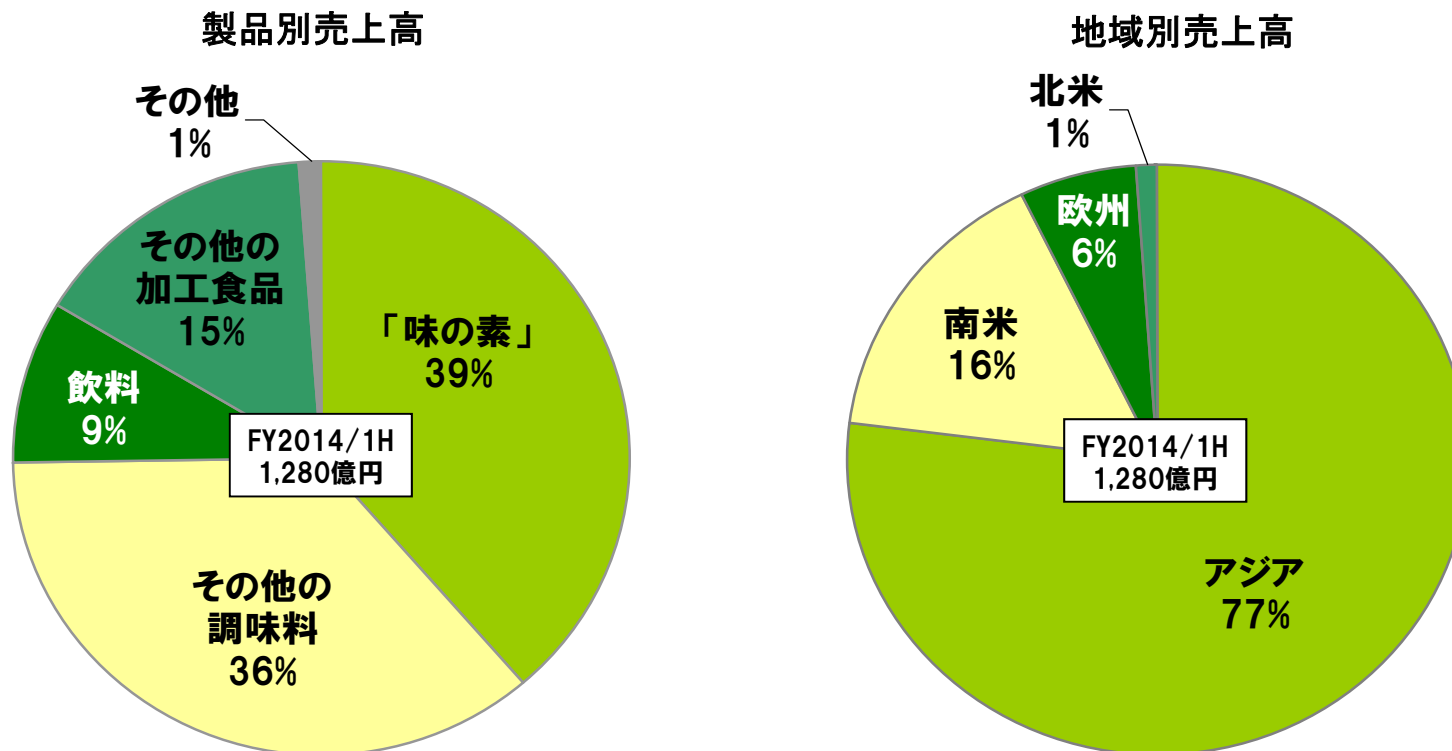
日本:+4、アジア:▲7、米州:+2、欧州:▲11、地域外*:▲1 計 ▲13億円

欧州 飼料用アミノ酸等で減益。

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。



【参考】FY2014第2四半期 海外コンシューマーフーズ販売動向

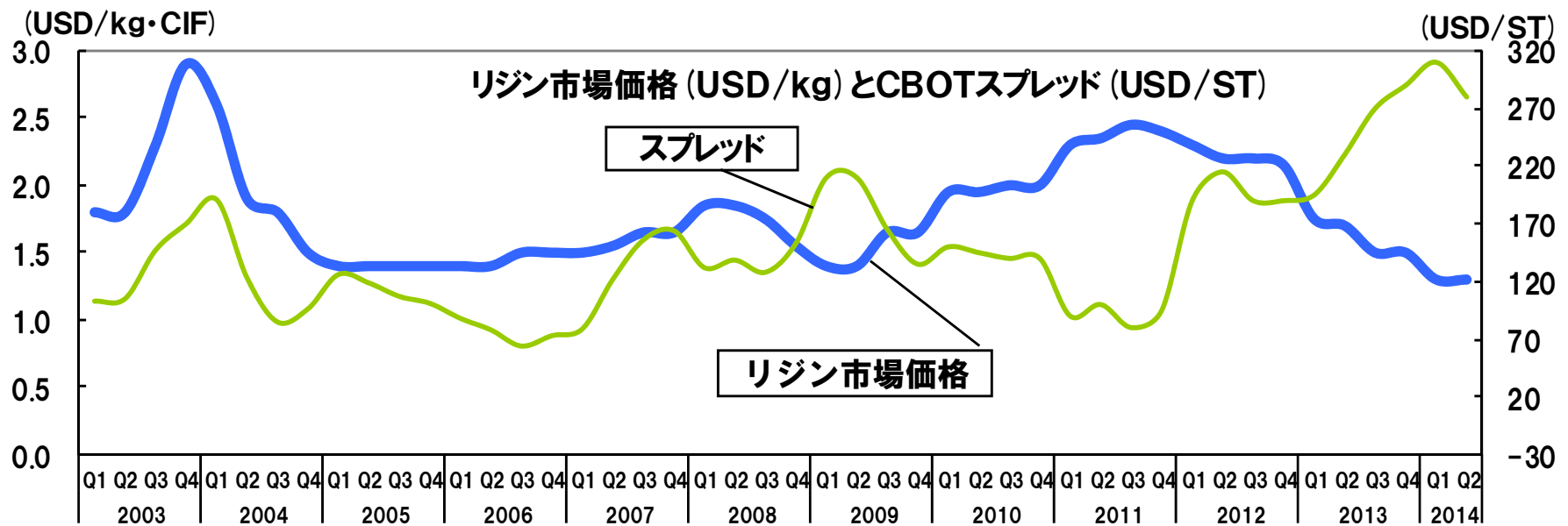


【FY2014/1H主要国の海外コンシューマーフーズ売上高】

- タイ 約159億THB (前年比103%、円ベース102%)
- インドネシア 約17,712億IDR (前年比116%、円ベース106%)
 - 【Q1修正】 約 8,361億IDR (前年比118%、円ベース102%)
- ブラジル 約3.4億BRL (前年比113%、円ベース 114%)
- ベトナム 約28,919億VND (前年比108%、円ベース113%)
- フィリピン 約27億PHP (前年比110%、円ベース111%)

AJINOMOTO. 【参考】飼料用リジン市場価格、CBOTスプレッド*推移

*CBOTスプレッド=シカゴ商品取引所の大豆粕とコーンの価格差





Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、四捨五入で表示しております。